目　　次

巻頭言

……井　上　達　男　（ i ）

論　文

語用論から異文化間コミュニケーションへ……西　光　義　弘　（ 1 ）
—語用論統合モデルに向けて—

ジョン・ウエスレーの宣教論と
米国合同メソジスト教会の実践……山　本　俊　正　（ 21 ）

「反直観的なもの」としての超自然 ……岩　松　正　洋　（ 37 ）
—パスカル・ボイヤーの宗教論の幻想文学への適用可能性—

コーパスに基づく英語の身近な疑問の解決……梅　咲　敦　子　（ 53 ）
—no wonder を例に—

素性循環性と照合子・被照合子間の非対称性……田　中　裕　幸　（ 75 ）

群衆と19世紀イギリス小説……伊　藤　正　範　（ 89 ）

周信芳と『斬経堂』……藤　野　真　子　（107）
—舞台の映画化に関する一考察—

ガリシア語の回復政策における
在外ガリシア移民の存在……柿　原　武　史　（127）

メキシコ市内旧先住民村落における
カトリックの祭礼をめぐる統合と対立……禪　野　美　帆　（147）

リアリズム〈運動（アイタ）〉、その擁護と拒絶 ……大　貫　隆　史　（165）
—リアリズムの書き手としてのカズオ・イシグロと
レイモンド・ウィリアムズ—

年譜・著作目録